

TOYOTAジュニアゴルフワールドカップ30回記念大会が開幕
未来のスター選手たちがメジャーチャンピオンに続く道を探る
日本チームはアベック連覇、達成なるか

愛知県豊田市（2024年6月17日）

30回目の節目を迎えた2024トヨタジュニアゴルフワールドカップが18日、中京ゴルフ倶楽部石野コースで開幕する。世界6つの地域の予選を勝ち抜いた女子9チーム、男子12チームが出場。ジュニアゴルフ世界一をかけ熱戦を繰り広げる。

1992年に初開催された本大会、歴代の出場者には世界のゴルフ界を席卷する錚々たる顔ぶれが並ぶ。

スコッティ・シェフラーは、11年前の今大会にアメリカチームの一員で出場。ベネズエラチームに11打差で敗れた彼は、その経験を活かし2022年にはマスターズを制覇。2024年には2着目のグリーンジャケットを手にし、世界ランキング1位を不動のものにしている

ヴィクトル・ホヴランはノルウェー代表として3度出場し、チームタイトル獲得に貢献した。その後は全米アマチュア選手権を制し、世界アマチュアランキングトップに上り詰めた。

2014年に創設された女子部門はメジャーチャンピオンこそ出ていないが、“卒業生”の梶谷翼（2021年）、アンナ・デイビス（2022年）、ローズ・チャン（2023年）が3年連続でオーガスタ女子アマチュアを優勝している。

過去4年間のマスターズ優勝者、シェフラー（2022、24）、ジョン・ラーム（2023）、松山英樹（2021）は全員がトヨタジュニアゴルフワールドカップを経験。オリンピック金メダリストでもあるジャスティン・ローズや全英オープン優勝者のキャメロン・スミス、ヘンリック・ステンソン、ルイ・ウーストハウゼンなど、歴代出場者の活躍は枚挙にいとまがない。

大会チェアマンのウィリアム・カーダイクは「最高のジュニアゴルフを世界に披露されるために、このトーナメントは年々成長してきました。国を代表して出場する選手たちは名誉なことであり、称賛されるべきです」と語る。創設以来の明確のビジョンが30年の時を経て大きく花開き、実を結んでいる。今年も愛知県豊田市から才能あふれるジュニアゴルファーたちが偉大な先人たちの足跡を辿り始める。

一方、大会の見どころは日本チームのアベック連覇だ。世界アマチュアランク上位者が多数参加している本大会。多士済々の男女6人がホストカントリーとして世界の強豪たちを迎え撃つ。

・大会のライブスコアは「Golfstat」からアクセス可能です。